

自殺対策啓発講演会：こころの健康講演会

＝ “こころが元気になる授業” ＝

(実施期間) 平成 26 年 11 月

(基金事業メニュー) 普及啓発事業

(実施経費) 平成 26 年度 32 千円

(実施主体) 沖縄県本部町役場

(32 千円)

【事業の背景・必要性】

本町における自殺死亡率は、比較的働き盛りの男性に多い状況であった。自殺者の要因にうつやアルコール関連問題が4割と言われている事から、若い世代から疾病に対する啓蒙普及を実施した。

【地域の特徴・自殺者数の動向】

地域環境

総人口	年齢3区分別人口（割合）		
	年少（0～14歳）	生産（15～64歳）	老年（65歳以上）
13,575人	1,882	8,175	3,518

自殺死亡の動向

本部町における自殺者の年齢別調整死亡率（人口動態統計）によると、男 49.54（平成 15～24 年）沖縄県での順位 7 位、女 7.21（平成 15～24 年）順位 26 位 また、平成 19～23 年の死亡者数は 23 人で年に 4.6 人の死亡数となっている。年齢別には 50～60 代の男性に多い。

【事業目標 事業内容】

10 代の若年者に対し、こころの健康について知識の普及を図り、何らかの問題に直面した時の対処法について学ぶ機会とする。

対象：①町内 M 中学校 3 年生 98 人 ②K 中学校 2 年生 21 人

講師：地域生活支援センター長及び精神障害者 2 人（当事者）による講話



【事業実施にあたっての運営体制】

事業計画時に講師（精神保健福祉士、精神の当事者）と事業目的を共有する。

2 国民一人ひとりの気づきと見守りを促す⑧

【事業の工夫点】

自殺者の4割にうつやアルコール関連問題があると言われているため、疾病予防の一環としても若い世代から、こころの健康問題に関心を持ってもらいたい事を関係者に伝えた。

事業計画を立てる段階で、教育委員会と連携を図り事業目的を伝える等事前調整を行った。

【事業成果及び評価、今後の課題、その他特筆すべき点】

講演を実施した生徒さんから、ストレスとの向き合い方や精神障害者に対する理解ができた等の声が聞かれた。また、事業を通し学校との連携が図りやすくなった。

(問合せ先) 沖縄県本部町役場福祉課福祉班

TEL: 098-047-2165

E-mail: y-nakachi@town.motobu.okinawa.jp